The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	就任にあたって
Author(s)	鴛淵, 茂
Citation	makoto. 1976, 16, p. 3-3
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/86194
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

就任にあたって

大阪府衛生部長
鴛淵　茂

この七月二十一日付けをもちまして、大阪府衛生部長に就任致しました。

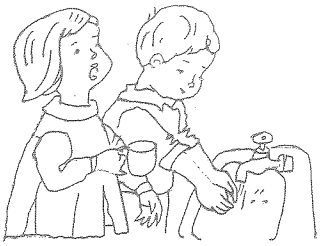
かって、私は、昭和三十九年四月から三年余大阪府衛生部環境衛生課長を務たことがございまして、今尚府庁内外を問わず、大阪では顔見知りの方が多く、この度の転任は古巣へ戻ってきた様な思いで、この点誠に心強く思っております。

ところで、大阪府の人口も八百四十万人を数えるに至り、一方面積は、全国都道府県中最少であり、全国一の人口過密府県でございます。従って、大気汚染、水質汚濁などの公害問題、交通災害等過密がもたらす様々な問題が山積されており、その対策並びに推進は、府政の重要課題でございます。

これら諸問題は、量的、質的にも多様化し、また近年の住民意識の高揚もあり、行政施策は大変難しいものとなって来ております。

しかしながら、衛生部の業務、即ち、医療関係施設の整備、医師並びに看護婦等の医療技術者の充足確保、疾病の予防と健康増進対策、保健医療体制の充実、生活環境の保全及び食品、環境衛生対策等についての諸施策は、これら一つ一つが住民の福祉に密着したものでありまして、「府民の健康を守る施策」は府政の重要施策として、なお一層進めていかなければなりません。

しかしながら、石油ショックに始まった世界的な経済不況は本府にも影響を及ぼし、府政始まって以来未曾有の財政危機の真只中にありますが、衛生部といたしましては、より一層の創意工夫と合理的で効率的な行政に努め、衛生行政を推進して参りたいと存じます。

最後に、衛生行政の推進は行政担当者だけの力では十分な成果を上げることができないのでありまして、関係諸団体の御協力が是非とも必要であります。

財団法人大阪防疫協会は、多年に亘る公衆衛生向上のための活動に対し、本年五月開催された全国保健衛生大会で厚生大臣表彰の栄に輝かれましたが、今後とも、ますます公衆衛生の向上、発展のため御活躍下さいますようお願い申し上げて、就任の御挨拶といたします。